

報道関係各位◎展覧会のご案内




岡本仁の
編集とそれにまつわる何やかや。
Hitoshi Okamoto's
Editing and So On and So Forth Exhibition

2022年10月29日(土) ~ 2023年1月22日(日)

生活工房ギャラリー ◎9:00 ~ 21:00
(三軒茶屋駅直結 キャロットタワー 3F)
〒154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1

◎入場無料
 ◎月曜休み(祝日は除く)

※11月6日(日)は設備点検のため休室
 ※12月29日(木)~1月3日(火)は年末年始のため休室
 主催:公益財団法人せたがや文化財団 生活工房
 協力:世田谷美術館
 後援:世田谷区、世田谷区教育委員会



世田谷文化25周年
生活工房
Lifestyle Design Center

画像A

本展に関するお問い合わせ: 生活工房 石山那緒子(広報担当)、大竹嘉彦(展覧会担当)
 154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1キャロットタワー
 TEL/03-5432-1543 Email/info@setagaya-ldc.net

Summary

今も根強いファンの多い『relax』をはじめ、マガジンハウスで数々の雑誌を編集してきた岡本仁。フィールドを広げながら活動する同氏が編集を通して生み出すものと、その背景を紹介。



画像B



画像C



画像D

雑誌の編集やエッセイの執筆、展覧会の監修等を通じて、美術、デザイン、映画、音楽など、幅広い分野にむけられた興味関心を独自のスタイルで紹介してきた岡本仁。その活動を一つの肩書でとらえるのは困難ですが、様々な事物を独自の文脈でつなぐという意味において、そこに共通してみられるのは「編集」的行為といえましょう。

編集者は作家ではありませんが、編集という営みは文章や絵画と同じく、その人があらわれる表現行為でもあります。本展ではタブロイド判の冊子とギャラリーの空間によって、岡本仁の編集が生み出すもの(アウトプット)と、その背景(インプット)をご紹介します。

アウトプットの一例として今回制作する冊子の特集テーマは、「いい絵って何だ?」。岡本仁が企画・編集し、多彩な分野の執筆者からご寄稿いただきます。

一方ギャラリーの空間では、企画・編集することの源泉ともいえる品々、いわばインプットの部分を展示します。岡本仁が愛してやまないものたち／気になるものたちがレイアウトされた空間からは、これまでに手がけた仕事の一端が垣間見えることでしょう。

ソーシャルメディアが一般化したことにより、今では誰もが自分のメディアをもてるようになり、編集という行為はより身近になりました。本展を通じて編集という概念をとらえなおし、その創造性に触れていただければ幸いです。

Profile

岡本 仁 おかもと ひとし

1954年、北海道生まれ。マガジンハウスにて『BRUTUS』『relax』『ku:ne』などの雑誌編集に携わったのち、2009年に退社。現在はランドスケーププロダクツに所属し、同社の幅広い事業の中でカタチのないもの＝コミュニティづくりやコンセプトメイキングを担当している。2021年、鹿児島県霧島アートの森にて、展覧会「岡本仁が考える 楽しい編集って何だ？」を開催。

主な著作に『ぼくの鹿児島案内』『果てしない本の話』『ぼくの東京地図。』『また旅。』など。現在、雑誌『暮らしの手帖』にて旅のエッセイを連載中。



Topics

◎ 岡本さんの頭の中

展示室にずらりと連なるカウンターは約 17m。そこには岡本さんがiPhoneのカメラロールからピックアップした写真と、直筆のテキストが並んでいます。岡本さんの思考の流れをたどるようなこの展示もまた、岡本さんの編集による創作物の一つ。

そしてカウンターの向こう側に視点を移すと、岡本さんの部屋が広がっています。

各地で買い求めたオブジェや絵画、クラフトや本。更に今回のためにアーティストのいわおたまきさんが制作した大きな作品も展示されています。

写真と言葉と物によって、岡本さんの頭の中をのぞき見るような展示空間です。



いわおたまきさんの作品



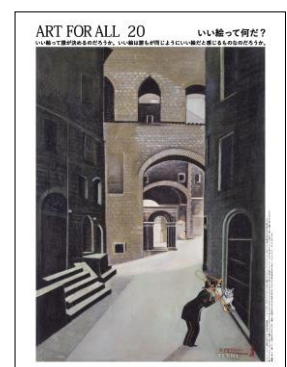
撮影：澤木亮平



◎ いい絵ってなんだ？

展覧会の一環として、岡本さんが企画・編集する冊子『ART FOR ALL』が生活工房より刊行されました。テーマは、「いい絵って何だ？」

皆川明、佐伯誠ほか、様々な分野で活躍する7名の執筆者による、エッセイあり、漫画あり、短編小説ありのバラエティ豊かな内容。TSUTAYA三軒茶屋店(生活工房ギャラリー階下)ほか全国14店舗で販売中。取扱い店舗の詳細はホームページをご覧ください。



タブロイド判16ページ 定価1,100円(税込) 限定1,000部
編集：岡本仁 デザイン：江藤公昭(PAPIER LABO.) 発行：生活工房

Events

ゲストを招いて、編集のことやアートのこと(いい絵って何だ?)について対談します。

TALK1 11月27日(日) 若木信吾(写真家、映像作家)×岡本仁

TALK2 12月11日(日) 田島朗(『BRUTUS』編集長)×岡本仁

時間: 14:00~15:30
会場: 生活工房セミナールームAB(キャロットタワー5F)
料金: 各回1,000円
定員: 各回申込先着80名
申込方法: 生活工房 WEB サイトにて受付

Outline

岡本仁の編集とそれにまつわる何やかや。

Hitoshi Okamoto's Editing and So On and So Forth

会 期 2022年10月29日(土)~2023年1月22日(日) 9:00~21:00

月曜休み(祝日は除く)

※11月6日(日)は設備点検のため休室

※12月29日(木)~1月3日(火)は年末年始のため休室

会 場 生活工房ギャラリー(三軒茶屋・キャロットタワー3階)

154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1

TEL 03-5432-1543 www.setagaya-ldc.net

料 金 入場無料

交通案内 東急田園都市線・世田谷線「三軒茶屋駅」直結

東急・小田急バス「三軒茶屋」停留所そば

主 催 公益財団法人せたがや文化財団 生活工房

協 力 世田谷美術館

後 援 世田谷区、世田谷区教育委員会



画像E
撮影:澤木亮平

「岡本仁の編集とそれにまつわる何やかや。」 広報用画像の貸し出しについて

展覧会広報用の画像をご用意しています。ご希望の際は貸出条件をご確認いただき、下記①～⑨の必要事項を明記のうえ、Eメールにてお申し込みください。

なお、本展紹介記事をご掲載いただく際は、恐れ入りますが情報確認のため、掲載前に校正原稿をお送りください。

また、掲載後、掲載誌、URL等を広報担当宛てにお送りいただきますようお願い申し上げます。

【貸出条件】

- ◆画像は展覧会紹介の目的のみにご使用ください。
- ◆画像データは、ご使用后必ず消去してください。
- ◆画像データを第三者に渡すことを禁じます。

【必要事項】

- ① 媒体名 （雑誌名、番組名、WEBサイト名など）
- ② 媒体種別 （新聞、雑誌、フリーペーパー、テレビ、ラジオ、WEBサイトなど）
- ③ 発売、放送、更新等予定日
- ④ 御社名
- ⑤ ご担当者名
- ⑥ ご住所
- ⑦ Eメールアドレス
- ⑧ 電話番号
- ⑨ ご希望の画像番号
 - 画像A（P1掲載）
 - 画像B（P2掲載） 撮影：澤木亮平
 - 画像C（P2掲載） 撮影：澤木亮平
 - 画像D（P2掲載） 撮影：澤木亮平
 - 画像E（P4掲載） 撮影：澤木亮平

生活工房 広報担当 石山 行き
Email info@setagaya-ldc.net